

日本リメディアル教育学会 大会発表優秀賞 選定規定（平成 29 年新設）

平成 29 年 6 月 20 日

日本リメディアル教育学会の全国大会では、大会発表優秀賞を設ける。この賞は、大会予稿及び発表を踏まえて、優秀な内容（口頭発表及びポスター発表）に対して授与されるものである。なお、大会発表優秀賞の受賞者には、学会誌への推薦論文として投稿を勧める。本学会は、様々な部会が存在することから、大会発表時の領域毎に選定できるように配慮する。

- 1) 10 件に 1 件の割合で、優秀賞を選定する。端数として、10±3 件に 1 件の範囲内で許容する。優秀賞は、発表者（筆頭著者）とする。
- 2) 大会発表時の領域毎の選定が可能となるように、1)を満たすグループ化を図る。条件を満たさない分類は、他の分領域と合わせ、条件を満たすか、または近い条件になるように調整する
- 3) 審査に際しては、大会発表優秀賞選定委員会を設置する。委員会（委員長 1 名及び幹事数名（各部会担当を想定））は、大会企画委員会の下で構成する。
- 4) 委員長及び幹事は、大会企画委員会のプログラム委員会と連携して、発表内容の分野との整合性を考慮して一次審査委員及び座長（二次審査委員候補）を選定する。
- 5) 一次審査委員は、担当の予稿の事前審査を行う。審査は、1) 新規性 2) 有用性 3) 信頼性 4) 了解性（記述の分かりやすさ）を以て審査する。
- 6) 一次審査のうち、上位 1 / 3 以上を当日審査（座長による審査）の対象とする。
- 7) 一次審査対象者が発表を行う座長は、発表に関する審査（二次審査）を行う。発表に関する審査も、1) 新規性 2) 有用性 3) 信頼性 4) 了解性（発表の分かりやすさ）の観点で審査する。なお、ポスター発表についても二次審査委員を設定する。
- 8) 大会最終日に、予稿及び発表審査の合計に基づき、最終審査を合議で行い、受賞者の選定を行う。
- 9) 受賞者については、大会日の閉会式で発表する。
- 10) 大会発表優秀賞対象者が希望する場合、推薦論文を期日までに提出できる。推薦論文は、編集委員会の領域毎の論文担当の下、領域を加味した査読者を選定し、各部会の採録の観点を考慮して論文作成のアドバイジングを行う。

以上